

内野小学校コーディネーター通信

No. 2 2

5年生総合的な学習の時間「人にやさしいまちづくり」

高齢者や障害者についての講話や体験を通して人にやさしい環境や施設、そして、まちづくりを学習しています。

福祉についての講話、認知症サポーター養成講座を5年生全員で学習し、高齢者疑似体験をクラス毎に学習しました。今回はその様子をご紹介します。引き続き、友愛訪問など地域に出かけて学習をしています。

福祉について講話（4/25）



西区社会福祉協議会のボランティアコーディネーターの方より、福祉とは①普段の②暮らしの③しあわせと④普段の⑤暮らしを⑥知ることとお話しいただいてから、幸せを感じる時はどんな時かを子どもたちが発表しました。

パラリンピック、ユニバーサルデザイン、障害者マークなどについてもお話しいただきました。

認知症サポーター養成講座（4/26）



地域包括支援センターの方より認知症と物忘れの違いを伺い、環境や認知症の方との接し方などで、症状の進行がかわってくるそうです。やさしく言葉をかけたり、手をかしてくれる人がいると認知症になっても安心して暮らしていける地域になっていくことを学習しました。

最後に認知症サポーターとして、オレンジリングをいただきました。

高齢者疑似体験（5/8）



疑似体験の様子



立ち上がり補助体験

日本子ども福祉専門学校の笹木先生と学生さんにお越しいただき、高齢者疑似体験と介護者の実技ビデオを視聴しました。高齢者疑似体験セットを着用し、立ち上がり、歩行、段差、掲示物を見るなどの体験をして高齢者が日常生活で困っていることを知りました。ビデオ視聴では、立ち上がりの補助体験もしました。

高齢者疑似体験をして、高齢者にやさしく接していきたいとの感想もありました。

6年生総合的な学習の時間「未来の内野すてきプロジェクト」

どんな大人になりたいか、自分の住んでいる内野がどんな町になってほしいか未来の自分や内野の姿を考える学習をしていきます。

最初に内野町についてお話を伺いました。

内野町について講話 (5/18)



商工会青年部の渡辺さんから内野町の現状や取組みについて、6年生全員でお話を伺いました。

40年くらい前と現在の同じ場所から撮影した内野町の写真を見せていただき、街並みの違いや後継者不足から商店の数が随分減少したことを知りました。

商工会青年部では、「うちの暖簾会」や「夜店祭り」などの取組みをしたり、若い人たちが空き店舗を利用して新しく出店して内野を活気づけているということでした。

自然豊かで、交通の便もよく、人も温かく、住みやすいと渡辺さんも子どもたちも感じている内野町をすてきにするには、6年生が自分たちで何ができるかを考えていきます。

花いっぱい運動 (5/30)



6年生が内野をすてきにする最初の取組みは、四ツ角やまちづくりセンターに花を植えて地域を明るく華やかにすることでした。

商工会婦人部、西区役所出張所、まちづくりセンターの方とボランティアの皆さんと一緒に赤と白のペコニアをプランターや街路樹に植えました。

最後にゴミ拾いや周りの片付けもやりました。



3年社会科 町探検 (5/9, 10)



2日間にかけて、東方面（西区役所出張所、稲荷神社、榎尾交差点、さくらロードなど）西方面（新川漁港、千鳥が丘第3公園など）を探検し内野町には施設や公園など何があるか知ることができました。ボランティアの皆さんに引率していただき安全に見学できました。

2年生活科 野菜の苗植え (5/19)



樋口さんから野菜の苗の植え方、育て方をわかりやすくお話いただきました。実際に野菜を植える際にもお手伝いいただき、子どもたちは苗をやさしく扱って植えていました。

定期健康診断

全校一斉に行う、歯科、耳鼻科健診に大勢のボランティアの方が来てくれました。おかげで予定より早く終えることができました。

今年度は昼休みのお話会に加え朝読書の時間も読み聞かせボランティアがはいてくださっています。クラブ活動が始まりボランティアの皆さんが活躍中です！！

<お問合わせ先>

内野小学校 地域教育コーディネーター山口なおみ
木竜 吉子
専用電話：090-2529-7651
電話番号：025-262-3121（内野小）
FAX番号：025-262-3122

